

# 12年度前期海外研修・国際交流奨励生決まる



2012年度「前期」海外研修・国際交流奨励制度による奨励生が決まった(個人6・団体1)。

▽写真:氏名・テーマ・渡航先は次のとおり(敬称略)。

▽佐藤末来(経済3) 青年海外協力隊の活動を通じて見る国際協力の視察(ザンビア共和国)

▽平澤輔(法3) カンボジアの教育支援(日本ボディアの教育支援)

▽酒井佳樹・橋本直幸(人間科学2) カンボジアの子供に遠足を教える教育支援(ベトナム、カンボジア)

▽村上裕代(文3) 日本ボディア



## 海外留学・研修のための「海外安全セミナー」開催

主に夏期休暇中に海外留学や研修をする学生たちを対象に渡航にあたっての注意や心得を伝える「海外安全セミナー」が7月21日(生田キャンパス)で開かれ、学生・教職員15人が聴講した。

講師は服部誠・海外留学生安全対策協議会理事を務め、日本と現地での生活・文化・犯罪率などの違いを挙げ、海外生活での安全・危機意識の啓蒙を図るとともに、事故発生を予防するための心得を紹介した。

## 懸賞論文・文芸作品コンクール作品募集

学生部では、学生の持つ幅広い能力と個性に期待し、「2012年度懸賞論文・文芸作品コンクール」を開催する。「懸賞論文」は自由課題(自由課題)と「文芸作品部門(小説等のフィクション)」で作品を募集。なお、入賞作品は印刷・製本し、配布する予定。

▽提出期間 9月21日(金) 27日(木)

▽提出先 学生生活課(生田・神田) 二部事務課

▽発表 11月中旬



▽表彰 鳳賞(各1点) 20万円、柘植光彦文学賞(各数点) 5万円、佳作(各数点) 2万円、努力賞(入賞者以外の応募者全員) 図書券

※長年にわたり同コンクールに尽力し昨年亡くなった柘植光彦文学賞が設置された。今年度から「柘植光彦文学賞」が設置された。園学生生活課 ☎044(911) 1267

# 高大連携活動 活発に

6月から7月にかけて高大連携協定校、付属高校との連携活動が行われた。

●専修大学松戸高校「副学長講演会&見学会」

6月2日、生田キャンパスで1年生全生徒を対象とした「副学長講演会」が行われ、452人が参加した。

「普遍的なことを幅広く学ぶ大学生生活を理解しよう」として、今後の充実した高校生活を送っていた高校生活を送っていた。

●専修大学松戸高校「松戸フェスティバル」

6月30日、生田キャンパスで2年生・文系生徒を対象とした「松戸フェスティバル」が行われ、282人が参加した。

●都立大田桜台高校「二日体験入学」

7月18日、生田キャンパスで2年生を対象とした「二日体験入学」が行われ、生徒202人が参加した。

●神奈川県立座間総合高校 留学生とのランチミーティング

神奈川県立座間総合高校の在留外国籍生徒と本学留学生とのランチミーティングが7月17日、生田キャンパスで行われた。

●吉田雅明経済学部教授による模擬授業「TPP」

国からの本学留学生5人とランチを楽しみながら交流を行った。

●神奈川県立座間総合高校「二日体験入学」

7月20日、生田キャンパスで2年生を対象とした「二日体験入学」が行われ、81人が参加した。

●司書インターンシップ

大学図書館業務の就業体験「司書インターンシップ」が7月25、26の両日、生田図書館本館で行われた。

●第7回朝日アマチュア囲碁名人戦全国大会

渡辺さんは昨年連続2年連続出場

●キヤンパス

ベトナムの文化・歴史

●漫画研究同好会

言葉ハカベ

●漫画研究同好会

言葉ハカベ

●漫画研究同好会

言葉ハカベ

●漫画研究同好会

言葉ハカベ

●漫画研究同好会

言葉ハカベ



「ネイパーヒルの奇跡」をご存知でしょうか。善につながればと実施したところ、驚くべき奇跡が起こったのです。まずは生徒の肥満率がみるみる低下しました。州の10〜17歳の肥満率が34.9%であったのに対し、セントラル高校は9%まで低下しました。この新生は運動することによって起る(Prag, 1999)ことも報告されました。

つまり、10分のランニングで脳神経が新生し、そのタイミングで授業が行われることで、効率よく学習できるというわけです。運動によって脳のストレス耐性が向上することにも明らかになっています。ちょっととした運動が私たちの脳を変えてくれるかもしれません。(学生部)

●奈川総合高、麻生高、荏田高、都立大田桜台高が、26日には神奈川県立座間総合高から12人が参加し、受け入れ整理業務、配架点検業務、カウンタ業務などについて学んだほか、同図書館内を見学した。

●司書インターンシップ

大学図書館業務の就業体験「司書インターンシップ」が7月25、26の両日、生田図書館本館で行われた。

●第7回朝日アマチュア囲碁名人戦全国大会

渡辺さんは昨年連続2年連続3度目に出場を果たしたが、惜しくも初戦で敗退した。

「ネイパーヒルの奇跡」をご存知でしょうか。善につながればと実施したところ、驚くべき奇跡が起こったのです。まずは生徒の肥満率がみるみる低下しました。州の10〜17歳の肥満率が34.9%であったのに対し、セントラル高校は9%まで低下しました。この新生は運動することによって起る(Prag, 1999)ことも報告されました。

つまり、10分のランニングで脳神経が新生し、そのタイミングで授業が行われることで、効率よく学習できるというわけです。運動によって脳のストレス耐性が向上することにも明らかになっています。ちょっととした運動が私たちの脳を変えてくれるかもしれません。(学生部)

●キヤンパス

ベトナムの文化・歴史

ベトナムの文化・歴史

ベトナムの文化・歴史

●漫画研究同好会

言葉ハカベ

言葉ハカベ

言葉ハカベ

